

議事要旨

①会議の名称：哲学委員会（第24期・第3回）

②開催日時：平成30年4月4日（水）17:00-18:20

③開催場所：日本学術会議 5-D 会議室

④出席者：藤原聖子（第一部副部長）、戸田山和久（委員長）、小林傳司（副委員長）、岡田真美子（幹事）、河野哲也、小島毅、佐野みどり、島藺進、田坂さつき、野家啓一

⑤議事概要

1. 「日本学術会議会則27条第2項に基づき、当委員会に設置される分科会の議決は当委員会の議決とする」ことを委員会決定し、これを承認した。

2. 前回の議事要旨を確認した。

3. 本年度のシンポジウムのテーマと日程が決定した。

テーマ「科学技術の進展と人間のアイデンティティー哲学・倫理・思想・宗教研究の役割―」（仮）
日程は11月23日（金祝）に決定し、事務局に会場予約を依頼した。

4. 世界哲学会（WCP）の日本招致について

野家哲学系諸学会連合会長から2023年WCP世界大会招致に関する報告があった。
「世界哲学構築のための分科会」が発足した。

5. 第176回総会・幹事会・第一部役員会の報告があった

(1) 総会について戸田山委員長から報告があった。

・会長の活動報告の紹介、「地方学術会議」創設。・女性会員比率が今期は32.9%となり、外部評価で評価された。・『学術の動向』の会員・連携会員全員への無料配布廃止。

(2) 幹事会・第一部役員会について藤原副部長から報告があった。

①山極会長の方針：対話の推進

②重要課題として：・ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会が新設される予定。

・「軍事的安全保障研究に関する声明」についてのアンケート 第一次集計結果報告
HP公開（2018/4/3）。・発信力強化・SDGs（持続可能な開発目標）

③人文・社会科学の振興として：・研究評価の方法・女性研究者・若手支援（GEASS）・
「マスタープラン」・HPへの議事録公開・提言等の査読プロセスの改善

④学術会議移転案廃案 ⑤委員会・分科会議事概要のHP公開義務化

⑥第一部内 提言等の査読プロセスの改善

⑦土日・祝日の会議室使用の変更 ⑧『学術の動向』（cf.委員長総会報告参照）

6. 各分科会の活動報告

・芸術と文化環境分科会：シンポジウムを行う予定（佐野委員長）。

・古典精神と未来社会分科会：①国家公務員採用総合職試験での哲学的内容の出題検討②
岩波ジュニア新書の続編出版 ③古典に関する公開セミナー開催を予定（小島委員長）。

・いのちと心を考える分科会：講師を呼んで勉強会を行う。10月日本倫理学会でゲノム編集に関するワークショップを行う計画を立てている（田坂委員長）。

・哲学・倫理・宗教教育分科会：参照基準検討。12月公開シンポジウム案として提出した
「<考える力>とは何か」を分科会主催で年内に実現したい。（河野委員長）

7. その他・軍事研究 良心的軍事研究拒否について学術会議で話し合ってほしい。

・ゲノム編集に関しては「いのちと心を考える分科会」も検討を深める。 以上